

令和4年度 第8回 SJAC講演会を開催

(一社)日本航空宇宙工業会(以下、SJAC)は、去る令和4年12月6日(火)、拓殖大学 海外事情研究所副所長/国際学部教授 佐藤丙午氏を講師として招き、SJAC事務所及びオンラインのハイブリッド形式による令和4年度第8回SJAC講演会を開催した。

開催は令和5年度予算要求及び戦略3文書の策定に係る様々な活動が佳境を迎える中、「防衛産業の基盤強化と展望について」と題して、注目を集める日本の防衛産業を取り巻く諸課題や特色、防衛産業政策に関する防衛省・自衛隊及び防衛産業側の各視点、新大綱の方向性についての政府の防衛産業政策のポイントや、ウクライナ戦争の教訓から課題認識のパラダイムシフトの必要性に触れながら、防衛産業の在り方そのものが、我が国の安全保障政策・国際協力の中核であるとお話と興味

深いご知見をご教示いただいた。

会員企業から約40社100名を越える聴講者が参加し、来会者による闊達な質疑応答を含め1時間半に亘る講演会は盛況のうちに終了した。

また、講演会終了後のアンケート調査では時期を得たテーマであり、学識者の考えを聞くいい機会であった等のご意見を頂く一方、ハイブリッド形式における来会者数の拡大を望む声もあり、今後のSJAC講演会開催の参考にさせていただきたい。



拓殖大学 佐藤丙午教授



講演会全景

〔(一社)日本航空宇宙工業会 国際部部长 川原 亘弘〕